

繰り返し、積み重ねの大切さ

校長 菊池 幸博

紙面をお借りして一言、御礼を申し上げます。10月23日(土)に実施いたしました「釜利谷スポーツデイ」に来校いただき誠にありがとうございました。ひと家庭につき2名まで、子どもたちの一斉参加はなく、交流ペア学年ごと、演技はなくリレーもない、応援団の見せ場も作ることはできませんでした。それでも多くの保護者の皆様に、子どもたちの生き生きと活動する姿をお届けすることができ、ほんの少しだけよかったと感じました。



楽しい炎 協力炎
気持ちを一つに心を燃やせ

新型コロナウイルスの感染者数はずいぶんと減少傾向にあったため、「いつも通りの運動会を実施してほしい」「今なら従来の運動会ができるのではないか」「なぜ変更できない」等のお問い合わせをいただきました。お気持ちは十分に理解いたします。教職員一同も、子どもたちに全校一斉の盛り上がった運動会を経験させたいという思いは同じです。ことさら小学校生活最後となる6年生には寂しい思いをさせてしまったという申し訳ない気持ちでいっぱいです。今後も感染状況によっては新型コロナウイルスへの対応の仕方は変化してくるかもしれません。よい方向に変わっていくことを願っています。

10月末から気温の低い日が続き、初冬を感じるようになりました。気が付けば11月、7日(日)は立冬を迎え、名実ともに冬の到来です。昨年度は新型コロナとインフルエンザの両方がかなり心配され、ダブル感染の怖さも報道されていたかと思われませんが、石鹸での手洗いやマスクの着用が徹底されたせいでしょうか、インフルエンザ感染者は例年に比べると圧倒的に少なく済みました。日々の習慣の積み重ねが、いかに大切であるかということが、思わぬ形で実証された一例ではないかととらえています。

学びについても同じことが言えます。目標に向けて、一つ一つ自分のできることを繰り返し繰り返し積み重ねていくことで、力が徐々につき、気がつくと目標に近づいていくのです。一朝一夕で力を高めていくことはできません。これはスポーツの世界にも言えることですし、さらには人間関係にも言えることではないでしょうか。

日々共に過ごす友達との関係も、積み重ねの一つです。学級集団・学年集団・釜利谷小学校の一員として周りの友達と、どのようにかわりながら一日一日を過ごし積み重ねていくかが大切なのです。その結果として信頼や尊敬や友情が生まれてきます。時にはトラブルとなることもあるでしょう。しかし、人にやさしい気持ちをもって過ごしていけば、必ず子どもたちは乗り越え、よりよい学級、よりよい学年、そしてよりよい釜利谷小学校をつくらせてくれると信じています。

(画像も文字が見にくくてすみません)